

## 【神奈川区】令和 2 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和 2 年 2 月 5 日 9 時 56 分 ～ 11 時 37 分
場 所	神奈川区役所 本館 5 階 大会議室
出席者	<p>【座長】小松 範昭 議員</p> <p>【議員：3 名】藤代 哲夫 議員、竹内 康洋 議員、宇佐美 さやか 議員</p> <p>【神奈川区：41 名】高田 靖 区長、小口 秀明 副区長、小西 美香子 福祉保健センター長、堀 敏彦 福祉保健センター担当部長、佐々木 雅彦 神奈川土木事務所長、星野 雅明 神奈川消防署長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 2 年度 神奈川区編成予算案総括について</p> <p>2 令和 2 年度 神奈川区編成予算自主企画事業費案について</p>
発言の旨	<p>【議題 1 及び 2】</p> <p>宇佐美議員：災害時要援護者支援事業について、103 団体に名簿を提供しているということだが、あと何団体あるのか？</p> <p>新井福祉保健課長：現在、103 団体と協定を結んでおりますが、ほかに 3 つの団体から協定の申し出があり、お話を進めているところです。</p> <p>全体としては、178 単位町内会中 103 団体に加えて、別の取り組みとして、名簿等の共有や見守り等を含めて要援護者の支援を行っているアンケート等でお答えいただいている団体があり、合計で 156 団体、全体の約 88% の団体が、要援護者支援を行っています。</p> <p>宇佐美議員：徐々に増えていると認識しているが、要援護者の個別の避難計画は進んでいるか？作るように言われていると思うが。</p> <p>新井福祉保健課長：個別の計画については、アンケート等で聞いたところ、まだ 11 団体しかできていません。計画が進むよう、団体にお伺いするな</p>

どして、啓発活動を行いたいと思います。

宇佐美議員：逃げ遅れてしまう人がいるといけないので、少しずつでもぜひ進めていただきたい。

宇佐美議員：振り込め詐欺等撲滅対策事業について、高齢者を対象に無償で機器の貸出を行うということだが、50台全部貸し出すという認識か。

大須賀地域振興課長：令和元年度は100台分の予算でしたが、140台ご用意ができました。これに対して171件のご応募をいただきました。使った皆様に感想をお聞きしたところ「被害が減った」、「大変安心できた」というご意見が多かったので、引き続き、貸出と自分で購入できる方は購入していただきながら、犯人からの電話に出ない対策を進めていきたいと思えます。

宇佐美議員：令和元年度の貸出は、140台か？

大須賀地域振興課長：予算的に140台ご用意できたので、140台をお貸しすることができました。大量購入であったため、比較的安価で購入できました。

小松議員：録音装置と電話機はセットか？

大須賀地域振興課長：令和元年度に貸与したのは、電話機と回線の間挟み込んで使うもので、既存の電話機に設置するものです。

電話機自体に迷惑電話防止機能がついたものがあり、令和2年度は、新しくそういった電話機を購入される方を対象に補助制度を設けました。

少しでも犯人からの電話に出ないという事を広げていきたいと思えます。

宇佐美議員：児童虐待防止対策事業の虐待リスクのある対象者への支援について、健診に来なかった方を対象にするということだが、これを虐待ではないかと判断する方は誰になるのか？

岩松こども家庭支援課長：乳幼児健診の未受診は、一つの虐待リスクであると市としては考えています。未受診の方には、受診を勧奨する通知を出します。それでも受診しない方は、こちらから連絡を差し上げて、お電話や家庭訪問で状況を把握しています。

宇佐美議員：最初の受診をしていなかったということ以外に、2回目、3回目の受診をしていなくても対象となるということか。

岩松こども家庭支援課長：乳幼児健診は4か月健診、1歳半健診、3歳健診と3種類ありますが、それぞれで未受診の方に、アプローチをしています。

宇佐美議員：学校に行ってから心配な子も増えると思うので、そこも気を使っていたきたい。千葉県野田市の事件があつてから児童相談所もピリピリしていると思うが、気にしすぎるくらいの方がいい。周りの大人が判断をするのは難しいと思うので、専門知識を持った方々に見ていただけているというのは、ありがたいことだと思う

宇佐美議員：放課後児童クラブの分割・移転は、完了したということでしょうか？資料に記載がないが、どうなっているのか？

高安学校連携・こども担当課長：条例適合につきましては、今年度も各放課後児童クラブの個別事情を踏まえた支援を進めました。年度初めには5つのクラブが残っておりました。そのうち面積基準についてはすべてのクラブが適合、一方、耐震基準につきましては、現時点で未適合が3クラブ残っています。そのうち2クラブは移転や耐震補強の目途が立っており、現在引っ越しや契約締結への追い込みの準備を進めているところです。そして残りの1クラブですが、こちらにも移転先候補物件がいくつか上がっており、条件の良い物件を探しているところです。区としても自治会町内会と連携して、クラブに寄り添った支援を継続してまいります。

宇佐美議員：頑張っていたいただいたのなら、資料に書いたほうがいい。引き続きよろしくお願ひしたい。

宇佐美議員：ひきこもり状態にある人への支援として講習会を開催するということだが、神奈川区内にひきこもり状態の方が何人いるのか把握しているか？

鈴木生活支援課長：ひきこもりの方に関しては、全体の人数ははっきりわかりません。社会的に孤立している方が多く、集計は難しい状態です。ただ、ご相談に来られている方については、生活支援課と高齢・障害支援課で人数を把握しております。30年度については、生活支援課が10人程度、高齢・障害支援課については20人余りです。

宇佐美議員：今の話は、高齢者だったり、生活支援を利用されている人の話だと思うが、支援につながっていない人へのアプローチをしていこうというのが、講習会の趣旨か。

鈴木生活支援課長：今年度は地域ネットワーク構築支援事業ということで、市で4800万円計上し、去年はモデル事業、今年は全区展開しましたが、そこでひきこもりの方の相談体制等について周知をしました。神奈川区では、ひきこもりの当事者と社会福祉協議会の元職員という経歴のお笑い芸人を招いて講演を行い、大変好評を得ました。

川原高齢・障害支援課長：ひきこもりの支援をする側の方にも、対応策などを理解していただく必要があり、そこにも力を入れていきたいということで、講習会を実施したいと考えております。なお、事業実施は、高齢・障害支援課で行う予定です。

宇佐美議員：区役所での区内産野菜等の出張販売について、11月から毎日やるのか。

藤咲区政推進課長：出張販売については、数年前まで区役所でも行っていました。今回、地産地消の良さを知っていただく、また、地球環境にも良いということで、区民に広く知っていただく取り組みとして、11月に一度モデル的に行うことを検討しております。今後、農家さんともお話しをし

ていきます。

宇佐美議員：毎日やっていたら嬉しい。羽沢のキャベツなどは、横浜市のシェアを占めているということで自慢のキャベツだが、野菜だけでなく、花などもあるか？

藤咲区政推進課長：今後、農家さんと相談になりますが、花きも含めて出張販売できればと思います。

宇佐美議員：最初は1回かもしれないが、ぜひ回数を重ねて、多く開催していただきたい。

竹内議員：新規事業の窓ガラス飛散防止普及啓発事業について、詳細を聞きたい。

増田総務課長：台風の際、窓ガラスが割れたことにより、ガラス自体が壊れて怪我をするということや、窓から風が吹き込んで屋根を飛ばしてしまうということがあります。家庭で避難生活を送るにあたって、窓が壊れているかどうかによって差が出るため、窓ガラスの飛散防止について取組を進めたいと考えています。

具体的には、普及啓発をしっかりと行うことと、日本ガラスフィルム工事業協会と協力して30件のガラスフィルム設置の支援を進めたいと考えています。

竹内議員：フィルムを貼る助成を30件行うということか？先着順か？

増田総務課長：先着順です。30件の助成を行いますが、全額補助ではございません。専門業者に聞きますと、どの家でもフィルムを貼ったほうが良いということではないそうです。例えば雨戸のある家はフィルムを貼る必要はないということなので、その辺りを勘案して補助を決定していきます。

竹内議員：初めてやることで、去年の台風の例もあるので、しっかりとお

聞きたい。乳幼児子育て世代向けの家具転倒防止支援についても具体的に聞きたい。

増田総務課長：区民意識調査の結果から、未就学児を含む親と子で構成される世帯では、家具の転倒防止を行っているパーセンテージが低いと出ています。防災関係の事業では、高齢者や小中学生、学生など様々な世代を対象としていましたが、未就学児を含む親と子で構成される世帯に対するアプローチが足りないということがございましたので、乳幼児健診や赤ちゃん訪問等の機会をとらえて普及啓発を行います。啓発グッズを作成し、チラシと合わせてお渡しします。啓発グッズとしては、耐震ジェルマットを考えています。

竹内議員：保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業について、非常に大切な取組だと思う。DVDを活用した普及啓発も素晴らしいと思うが、我々もこのDVDを見ることができるといい。

岩松こども家庭支援課長：DVDは今年度末に完成予定となっております。完成した際に皆さまにも見ていただけるようにしたいと思います。YouTubeなど公開ができる場所にも掲載する予定です。

竹内議員：こういう取組は、皆で見られるといい。

竹内議員：神奈川区民DAYを設けており、横浜FCがJ1に上がったが、今年は何か行う予定があるか。

藤咲区政推進課長：横浜FCとは、エコパートナー協定を締結しております。エコの観点から様々な事業を行っております。昨年までは区民DAYの開催や、エコパートナーDAYを設けて入場者数に応じてカーボンオフセットの取組をしていただいております。

地域の清掃活動にも、横浜FCの奥寺会長をはじめ皆さんにご協力いただいている経過もございます。J1昇格を契機にどんなことができるか、引き続き話し合いをしていきたいと思っております。

竹内議員：先ほど地産地消の話があったが、市場まつりなどには大勢の人が来られる様子を見ている。時期は未定だが、市場前の港湾局の土地で、にぎわいを検討するという市の予算がついている。地の利からすると神奈川区だし、上手く活用して区民に喜んでもらえるように使うのがいいのではないか。

例えば、地産地消をからめて神奈川区の人が積極的に出店するとか、今の段階から局と連絡をとることによって、神奈川区の色も出て、住んでてよかった神奈川区となると思う。都市整備局の予算かと思うが、区に相談なく進んでいくという典型例かもしれないので、ぜひ局に相談してもらいたい。

藤咲区政推進課長：山内ふ頭の活用について、関係区局である港湾局、都市整備局、経済局の市場担当、神奈川区で連携し、定期的に打ち合わせを開いているところです。どういった形で活用ができるのか、にぎわいを創ることができるのかを区としても今後考えていきたいと思います。

藤代議員：窓ガラスの飛散防止の件について、確か他区で区づくりで取り組んでいたと思う。情報共有されているか。

増田総務課長：南区が先進的にやっておりますので、情報を得ながら進めています。

藤代議員：課題もあると思うので共有していただきたい。日本ガラスフィルム工事業協会と連携するとのことだが、せつかくの事業なので、できれば、区内や市内の中小企業にお願いをするという考え方も必要だと思う。仕事の量や内容にもよるが、30件なのでそれほど難しくはないと思う。

増田総務課長：様々な状況を勘案して、その辺りの視点を取り入れながら、工事業協会と調整していきたいと思います。

藤代議員：交通安全対策事業について、自治会町内会単位やさまざまな単位で交通安全教室をやっているが、昨年4月1日に、県で自転車に関する条例が施行されている。交通安全という取組の中で、保険加入を促してい

く必要があるが、何か行っているか。

大須賀地域振興課長：昨年4月から県の条例が施行され、自転車損害賠償責任保険の加入が10月から義務化されています。

県からチラシを取り寄せ、窓口や区連会等でもお話を差し上げています。警察とも連携して、交通安全教室の場でも周知しています。

藤代議員：市でも条例を作ろうという動きがあったが、最終的に県の方が良いだろうということになった。ぜひ、促しをお願いしたい。

藤代議員：保育園や幼稚園の通園路の安全対策に関して補正予算が組まれているが、園や規模によっても様々違うのでケースバイケースで考えていかねばならないが、この話について、こども青少年局と連携を取っていることがあるか。

佐々木土木事務所長：国との調整もあり、2月の補正予算で、市で7億円ほどの補正がつくということになりましたので、令和2年度に、道路局で通園路の安全対策をしていく予定です。

藤代議員：まだ先のことだと思うが、何か議論があったか。

佐々木土木事務所長：昨年中に、各施設、警察、事業者と現地調査を済ませており、ほぼ内容を精査しております。実際の施工は来年度になりますが、積極的にやっていきたいと考えています。

藤代議員：園によってケースバイケースなので、調査していただいて叶わない部分も出てくると思う。安全対策については各保育園から相談が多い。補正がついたことは、はずみになると思う。ぜひ寄り添って取り組んでいただきたい。

藤代議員：オリパラについては全く資料に出てないが、何かあるのか。

大須賀地域振興課長：令和元年度については、中止になってしまった区民



まつりや、みなとフェスタ等の場面で啓発をしていこうと考えていました。令和2年度も、市民局で2020大会の機運醸成に取り組む予算として区への予算配付を検討していると聞いています。神奈川区でも予算を活用しながら、局と連携して盛り上げていきたいと考えています。

藤代議員：放課後児童クラブの移転について、一生懸命取り組んでいただいて、私の方でも関係者の感謝の声を聴いている。あと2か月ということで、非常にタイトな日程になる。水を差すわけではないが、年度を超えてしまう場合には、こども青少年局で、前提条件を整えば対応できるような仕組みを作っていくと聞いている。

間に合わない場合も想定もされていると思うが、その辺りの考え方を聞かせてほしい。

高安学校連携・こども担当課長：残るクラブも少なくなってきましたので、個別のクラブと年度内を目指しておりますが、万が一、年度明けになる場合がございますら、できる限りの支援、対応ができるよう、こども青少年局と密に連携して対応してまいりたいと思います。

藤代議員：ぜひよろしくをお願いします。

小松議員：窓ガラス飛散防止普及啓発事業について、私も、雨戸があるところには必要がないと考えていたが、オフィスビルは特に2階、3階となると雨戸がないと思うが、法人でも補助が出るのか。

増田総務課長：補助については、一般家庭を対象としたいと考えています。

小松議員：一般家庭ではほとんど雨戸があるかと思うが、了解した。

小松議員：振り込め詐欺対策に関して、先般、ロータリークラブから自動通話録音装置が寄贈され、昨日、寄贈式があったと思うが、録音装置はいくらで、どの程度補助がでるのか。

藤咲区政推進課長：昨日、神奈川ロータリークラブさんから50台の自動

	<p>通話録音装置のご寄付をいただきました。こちらにつきましては、地域ケアプラザや区の社会福祉協議会に配置をして、地域の会合等の場でデモンストレーション的にご活用いただくような形で考えています。</p> <p>小松議員：大体の電話には取り付けることができるのか。</p> <p>藤咲区政推進課長：既存の電話機と壁に付いているモジュラージャックの間に録音装置を挟み込むことによって、使える状態になります。</p> <p>販売価格については、物にもよりますが、1台5千円から1万円くらいの間と聞いています。</p> <p>大須賀地域振興課長：補足させていただきます。お手元でございますが、元年度にお貸しした自動通話録音装置は電話線にとりつけるものです。</p> <p>令和2年度については、電話機に既に機能が付いたものを買われる場合には、5千円の補助を考えています。未確認ですが、神奈川県でも補助金を検討しているという話もございますので、そうになりましたら局や県と連携していきたいと思いますが、区づくりとしては、5千円の補助で100台分、2分の1補助ということで考えています。</p>
<p>備 考</p>	